

社協のマークです



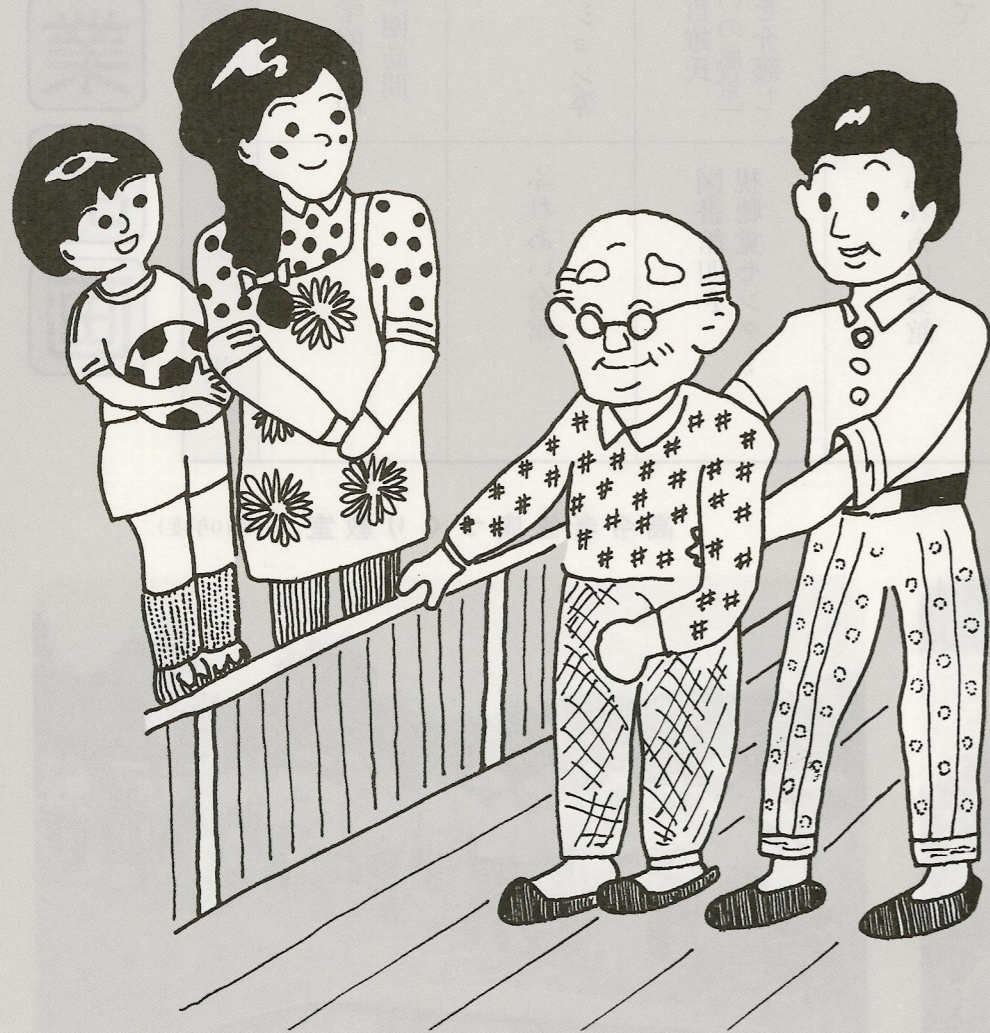
福祉の心を育てよう

# 社協 尾崎支部だより

No.22

平成11年8月1日発行  
各務原市社会福祉協議会  
尾崎支部広報委員会

## こころのまん中は思いやり やさしさでいっぱい



### 支部社協活動を進めるにあたっての基本目標(3本柱)

- ① 思いやりと助け合いの意識を広める。  
(福祉教育活動)
- ② 住民による福祉活動を活発にする。  
(住民福祉活動)
- ③ 在宅福祉サービスのネットワーク作りを進める。(ケア体制の組織化)

社協会員募集月間(8月中) —— 年会費(一般500円、特別1,000円)

各務原市社会福祉協議会は会員である皆さんの会費によって運営され、その会費の40%が支部活動費として還元されています。

今年も8月に会員募集が行われますが、会員として継続加入していただくことはもちろん、未加入の方については一人でも多くの方が加入していただくようお願いします。

## 社会福祉協議会(社協)とは

私たちの住んでいる地域社会には、ねたきりのお年寄りやひとりで暮らしているお年寄り、からだの不自由な人などあらゆる人たちが生活をともにしています。

一方で、出生率の低下や核家族化の傾向にある昨今ですが、地域に住む人それぞれが互いに気軽に声をかけあったり、ねたきりのお年寄りや身体の不自由な人々を励ましあったり、おたがいが助けあうなど心が通じ合える地域でありたいとだれもが願っています。

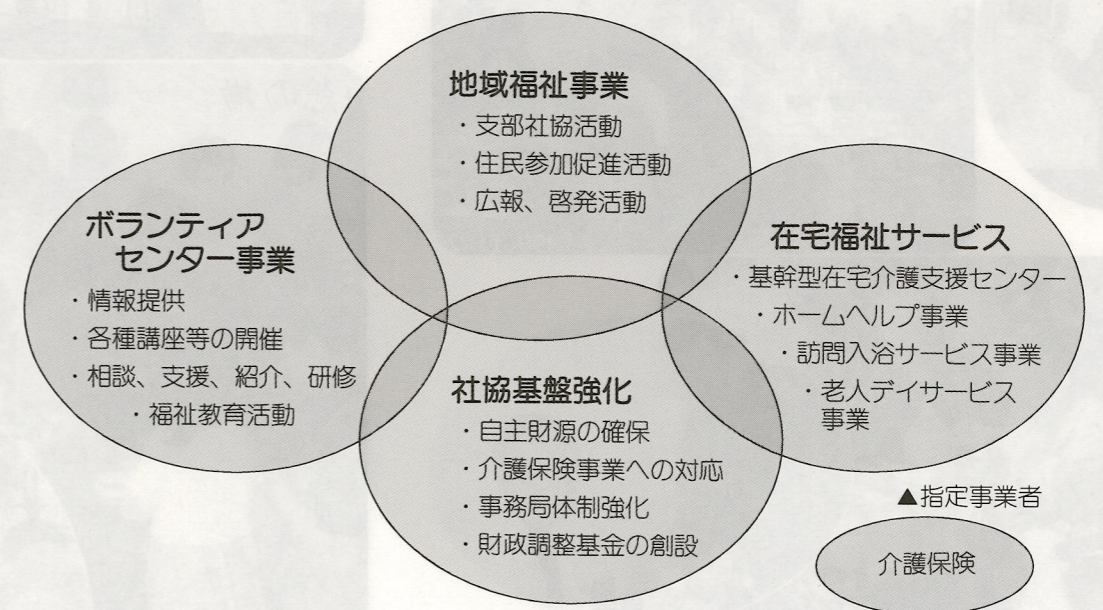
社会福祉協議会では、「だれもが安心して暮らせるまちづくり」のため、地域住民が主体となって参加できる組織づくりをめざし、支部社協活動をはじめ、ボランティア活動、在宅福祉サービス事業など市民生活に密着した活動を展開しています。

## 社協の活動原則

- ① 市民ニーズの原則  
広く市民の生活状態・福祉課題を把握し、その解決のための活動を進める。
- ② 市民主体の原則  
市民への福祉への関心を高め、自主活動を支援する。
- ③ 民間性の原則  
民間組織として、即応性・柔軟性を発揮した活動を展開する。
- ④ 公私協働の原則  
公私の福祉、保健、医療団体・施設と連携した活動を計画的に進める。
- ⑤ 専門性の原則  
調査、計画等に専門性を発揮する。

## 11年度 社協重点目標

- ①平成12年度からの介護保険事業へむけてのサービス体制の充実
- ②住民が自主的に参加できるような支援体制  
(地域福祉とボランティアなど市民活動の支援、参加促進)
- ③自主財源の確保と組織体制強化



# 平成11年度 事業計画

月日	事業内容	会場
6月28日	施設訪問 武芸川町・第二、第三美谷学園訪問 岐阜市・岐阜薬科大学薬草園訪問	
6月・7月・8月中に	高令者健康づくり教室 市社協から講師を予定 屋内軽スポーツ・レクレーション等	ふれあい会館
7月4日	地域リーダー研修会に参加 市社協主催 講師・渡辺哲雄氏 (中日新聞に連載中の「老いの風景」の作者であり自分の親族を介護した体験を通じての講演)	図書館4F 視聴覚センター
7月16日	介護講習会の開催 在宅福祉サービス 公的介護保険制度について	ふれあい会館
7月21日	親子ふれあい映画会 題名「ポコアポコ」	ふれあい会館
7月24日	地域福祉座談会 地域の福祉活動について	ふれあい会館
8月1日 ~ 8月31日	会員募集 社会福祉協議会の運営は会員の会費によって運営されています	
9月15日	敬老の日	
10月	福祉デー 福祉を体験する一日にする	
10月未定	他地区との交流 他地区の社会福祉協議会との交流	
11月16日 11月21日 2回	健康づくり教室 軽スポーツで体力づくりを	
11月28日	歳末福祉座談会 高齢者のコミュニケーションづくり	ふれあい会館
12月11日	地域福祉座談会 地域の福祉活動について	ふれあい会館
その他	特別養護老人ホーム飛鳥美谷苑(仮名)が12・2・15完成予定 所は西市場七丁目二八五番地の一 那加山崎町三一番地	

自治会加入世帯数	2,341世帯
一般会員数	1,216人
一般会費額	610,000円
特別会員数	262人
特別会費額	267,200円
合計	1,478人
会費額合計	877,200円
支部交付金	351,000円
全体加入率	63.1%
一般会員加入率	51.9%
特別会員加入率	11.2%

歳末福祉座談会 (平成10年度)

福祉デー (平成10年度)

高令者健康づくり教室 (平成10年度)

